

令和5年11月16日(木)

時間 10:00~11:30

場所 大和中学校 会議室

【委員】☆委員長

☆深井 宏之 加藤 聡司 岡本 壮平 関口 寿子 川合 香代子
新坂 頼子 八木 久仁 奈良 一成 柴崎 隆史

【職員】

佐藤 真二 中島 正晴 秋葉 孝善 森下 泰廉 池田 竜雅

1 校長あいさつ 佐藤 真二

2 委員長あいさつ 深井 宏之

3 授業視察

4 令和5年度学校運営について

(1) 二学期の教育活動について ◆学校の発言 ◇委員の発言

◆学校総合体育大会の県大会及び関東・全国大会の報告

◆新人戦、合唱祭をはじめとする学校行事の実施状況

◆インフルエンザの流行状況について、10月は学級閉鎖が多くあった。

◇多くの授業で生徒タブレットが活用されているが、学校生活の途中でバッテリーが切れたらどうするのか。5年間の中でバッテリー交換はできないのか。

◆バッテリーが切れた際は教室で充電している。

バッテリー交換は契約にあるので1回は交換する予定でいる。

(2) 校則の見直しについて ◆学校の発言 ◇委員の発言

◇昔ながらの先生方は、校則をゆるめると心配だという思いがあるのではないか。

指導しなくてはならない校則は無くしてもいいのではないか。

◆髪型についても「編み込み」はなんで駄目なのかと、強く訴えてくる保護者もいた。その都度、丁寧に説明している。

◇髪型等については、学校生活に影響がでなければいいのではないか。

◇学校側は、生徒が他学年の生徒と接触すること、他クラスの生徒と接触することを避けて、トラブルを避けるようにしている。そういう意図が校則に見える。

◆授業によって空き教室になる際は、教室を施錠して盗難を予防していた背景がある。そのため、不必要な他学年フロアへの出入りは制限している。

◇先生方の身なりも指導する際の説得力に関わってくると思う。「先生方はなんでいいのか」と言われるのではないか。また、気候や天候によっては冬服じゃなくてもいい日もあるのではないか。

◇高校では、他教室の移動や階の移動に制限はない。盗難対策については、生徒の持ち物は鍵付きのロッカーで管理している。高校生の女子は、お昼を誰と食べるかも大事なので教室の出入りは認めていかないと逆に難しい。

◇高校では校則の見直しについては、生徒タブレットを活用して意見を集めている。ツブブロックについても色々と種類があって、生徒の意見と教師の意見で折り合いをつけたところで基準を決めた。生徒にも教師にも満足感がある。生徒も奇抜なものについては自分たちで駄目だと排除していた。

(3) 不登校について ◆学校の発言 ◇委員の発言

◆現在、相談室登校についてはハードルを低くし、通いやすいようにしている。生徒タブレットを活用したオンライン授業も提供している。これは他校よりかなり進んでいると思う。

◆担任をはじめとする先生方の不登校生徒への対応も非常に丁寧。相談室への訪問、電話連絡、家庭訪問等、多くの先生方が遅くまで対応している。その結果、1ヶ月の時間外在校時間調査で80時間を超える先生方が出ている。

◇時間外在校時間の増加は、先生方が対応を丁寧に行っている表れだと思う。

◆そのせいで、体調を崩している教職員がいるのも事実である。

5 生徒との意見交換 ●生徒の発言 ◇委員の発言

●大和中の良いところは、生徒が行事に熱心に取り組む。先生方も一緒に行事に取り組める。学校がにぎやかである。生徒はあいさつがよくできる。給食がおいしい。

●大和中の課題は、勉強に対する意識が低いように感じる。気が抜けているのではないと思う、改善したい。メリハリがもっと必要。

●校則について良いラインと悪いラインについて生徒にちゃんと伝える機会が必要だと思う。そして校則を明確にしてほしい。

●女子トイレの洋式が少なく、和式が多い。

◇校則の変えてほしいところはあるか。

●女子の髪型で「おだんご」を認めてほしい。生徒から「どうして駄目なのかわからない」という意見が多い。だれも説明できないなら、その校則は無くしてもいい。

◇できれば学校側と生徒側で話し合っ、自分たちで決めることが大切である。

◇これからも生徒にはどんどん意見をあげてほしい。そして生徒と学校で話し合う機会をつくることが大事だと思う。

6 その他 ◆学校の発言 ◇委員の発言

◆ふるさと納税の予算で放送室整備、学期購入を、来年度の修理修繕要望として女子トイレ・理科室・テニスコートの改修。

◇どんどん保護者にプッシュしていった方がいい。

◇返礼品のような特典があれば、寄付も増えるのではないかな。例えば、サンアゼリアでの合唱コンクールの座席確保などだろうか。